

いわき 農林水産 ニュース

ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま

令和7年 7月号

Vol.245

発行日

2025/7/31

01 各種取組の実績（6～7月分）

08 お知らせ

08 食品表示のあれこれ ④

08 第2回「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーン

09 いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果（6月分）

09 6次化商品の紹介

10 高校生発！Iwaki ならではのグルメをつくろう レシピ紹介

11 あとがき

優良森林土木工事・緑化功労者の表彰

6月13日(金)

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会では、森林土木工事における工事施工者の技術の向上と安全施工の確保及び技術者の育成を図ることを目的に、優良工事や優秀工事監督者を表彰しています。併せて、県民の森づくり意識の高揚を図るため永年にわたり緑化活動に貢献した団体等を表彰しています。

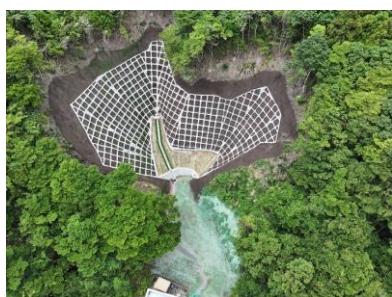
受賞した方々には、心よりお祝いを申し上げます。

（森林林業部）

○優良森林土木工事・優秀工事監督者

いずれの受賞者も、優れた技術力と管理能力を発揮し、発注者と緊密に連携し、近隣住民とも良好な関係を築きながら、安全かつ優秀な出来映えで工事を完成させたことが認められ、表彰されました。

部門	事業名(地区名)	工事施工者	監督者
治山事業	治山施設事業(県営)(小塚地区)	株式会社山一緑化土木	石井 政宅
林道事業	林道施設災害復旧事業(田代川平線)	株式会社矢城建設	熊谷 辰夫



▲小塚地区完成状況



▲林道田代川平線災害復旧状況

○緑化功労者

荒廃していた明神里山の再生・整備、地域の活性化を目指したイベント開催、遊歩道整備等の活動を通して、緑化の推進や地域社会の活性化に寄与した功績が認められ、明神里山実行会(田人町)が表彰されました。



▲東屋の整備



▲登山口看板の設置

農地中間管理機構関連農地整備事業「瀬戸地区」ほ場整備工事に着手！

いわき市南部の瀬戸町では令和7年6月より、ほ場整備※工事に着手しました。農地中間管理機構関連農地整備事業「瀬戸地区」は、令和6年度に事業採択され、実施設計等を経て初めてのほ場整備工事に着手したものです。瀬戸地区の地区面積は約35haですが、これはほぼ東京ドーム7個分と同じ広さです。今年着手した面積は約11haであり、35haのほ場整備が完了するまでには4～5年程度かかります。

本地区においてもほ場整備により、農地の大区画化により大型農業機械の導入を可能にし、地域の農業を担う意欲ある担い手へ農地集積を進めることで、持続可能な農業を目指します。さらに、本地区ではいちごと花卉の栽培に取り組み、収益性の向上にも取り組んでいきます。

いわき農林事務所管内では、現在、山田地区、神谷地区及び神谷第二地区で、ほ場整備を実施しています。他にもほ場整備を実施したいという地域の声が多くありますので、県としては引き続き各地域の農家の皆さんのために、ほ場整備の推進に努めていきます。

※ほ場整備とは、「農地などの区画形質の変更や、そのほかほ場条件を総合的に整備することによって、農業生産性の向上を図り、併せて農業構造の改善を行うことを目的とした事業である。」とされています。

(農業土木ハンドブックより)

(農村整備部)



▲本年度の工事範囲全景



▲バックホウでの表土はぎ



▲ブルドーザーでの表土はぎ



水稻採種ほの審査

6月30日（月）

水稻の良質な種子を生産するために、福島県内各地に種子生産組合があります。いわき市内では「大野種子生産組合」が種子を生産しており、採種ほの異型排除等のための審査を実施しました。

この審査は、イネばか苗病、異型（「丈が長い」など本来の品種特性とは違う生育の個体）、漏生（条から外れた個体）、雑草等がないかを確認します。特にイネばか苗病が発生すると、次世代の種子まで影響を及ぼすため、確実に排除する必要があります。

審査は種子生産組合の組合員やJA福島さくら、県、福島県米改良協会の職員が協力して237枚のほ場を1つ1つ確認しました。

今後も良質な種子を生産するために、県を含む関係機関が連携して、種子生産組合の取組を支援していきます。

（農業振興普及部）



▲採種ほ審査の様子

遠野地区生産者スマート農業技術推進協議会現地検討会

7月7日（月）

遠野地区生産者スマート農業技術推進協議会主催による水管理システムの現地検討会が開催されました。当日は管内農業者、行政、JA等から約35名の参加がありました。初めにJA 福島さくら遠野よりそい店で、スマート農業中山間地域モデル実証事業の遠野地区における取組の説明および（株）farmoから、ファームではじめるスマート水管理について説明を受けた後、現地検討として、いわき市遠野町深山田にある生田目会長の実証ほ場を視察しました。会長からは水管理システムの導入により、スマートフォンで管理ができるため、水の見回りの回数が減り省力化に繋がれたと説明がありました。参加した農業者の方からは、是非使ってみたいという声が上がっていました。

県では引き続き、スマート農業技術の普及推進に努めてまいります。

（農業振興普及部）



▲（株）farmoによる水位測定システム（ファーム）の説明



▲現地検討会での様子

令和7年度第9回 J A福島さくら和牛育成管理共進会 6月28日(土)

令和7年度第9回 J A福島さくら和牛育成管理共進会が、田村市常葉町にある J A福島さくら畜産センターで開催されました。審査は競技者が牛の得点を付ける審査競技と、肉用繁殖雌牛の1区から5区までの等級審査が行われました。

審査競技は若人の部、女性の部、農業高校の部に分かれ、4頭の牛をそれぞれ評価し、審査員の付けた部位の評価にいくつあっているかを競います。肉用繁殖雌牛の等級審査は、生後13ヶ月以上から16ヶ月未満の第1区(若雌の1) 7頭、生後16ヶ月以上19ヶ月未満の第2区(若雌の2) 7頭、生後13ヶ月以上から23ヶ月未満の第3区(若人の会) 6頭、高等登録牛である第4区7頭、母・娘2頭1群の第5区1群に分かれて行われました。いわき市からは、審査競技会には磐城農業高等学校の3年生7名が挑戦しました。等級審査には第1区、第2区に出場しましたが、入賞には至りませんでした。審査競技で優秀賞を受賞した磐城農業高等学校の学生は、7月26日に開催される J Aグループ福島肉用牛共進会に出場し、審査競技に臨みます。

県では引き続き、繁殖農家の飼養管理技術向上の支援に努めてまいります。

(農業振興普及部)



▲審査競技の様子



▲等級審査の様子

いわき地区生活研究グループ連絡協議会「味噌作り教室」 6月14日(土)

いわき地区生活研究グループ連絡協議会主催の、親子を対象とした食育活動「味噌作り教室」が開催されました。

当日は、10組25名の参加者が、会員の生産した大豆と米麴を使って、大豆つぶし、麴との混ぜ合わせ、仕込み等の味噌作りの工程を体験しました。すり鉢での大豆潰し麴混ぜなど、初めて体験することばかりで、参加者は皆楽しんで作業を行っていました。昼食にはいわき市産の食材を使用した会員手作りのおにぎりや味噌汁等が提供され、参加者にいわき市の農産物に関心を持ってもらうきっかけとなりました。

県では引き続き、いわき地区生活研究グループの活動を支援してまいります。

(農業振興普及部)



▲会員が味噌の材料について説明する様子



▲大豆と米麴を混ぜ合わせる様子



令和7年度第1回いわき農業普及推進懇談会

6月27日（金）

いわき農業普及推進懇談会は、農業者、関係機関・団体等の意見・要望を普及指導活動等に反映させ、効率的な活動を実施することを目的に、毎年2回開催しています。

1回目の懇談会では、令和7年度の普及指導計画やこれまでの取組などを説明した後、それぞれの立場からの御意見、御助言をいただきました。

その後、浪江町からいわき市へ避難し、三和町で肉用牛繁殖経営を再開させた（株）ビーフジャパンを訪問し、再開までの経緯とご苦労について話を伺いました。

県では、懇談会でいただいた御助言等を、普及指導活動に活かしてまいります。

（農業振興普及部）



▲懇談会の様子



▲（株）ビーフジャパン視察の様子

令和7年度いわき地方フラワーネットワーク花育事業

7月8日（火）

いわき地方フラワーネットワークの花育活動として、いわき市立小玉小学校6年生25名を対象に、福島県の花き生産状況の紹介と、市内産花き等を用いたフラワーアレンジメント体験教室を行いました。本事業は、花が身近なところで生産されていることを知っていただき、花に親しみをもって生活の一部に取り入れてもらうことを目的に、令和4年度から実施しております。

児童は、市内生花店の講師からアレンジメントの基本形を学んだ後、茎や葉など花以外の部分も無駄なく使い、それぞれが自由な発想のもとに大胆で個性豊かなアレンジメントを作り上げました。

開催後のアンケートでは、「またやってみたい」、「楽しかった」等の感想をいただきました。県では、引き続き花きの消費拡大に向け支援していきます。

（農業振興普及部）



▲真剣に取り組む児童



▲笑顔でポーズ

第23回 治右衛門の堰「あじさい祭り」夏井小学校 6月19日(木)

県では土地改良施設見学や体験学習活動を支援しています。今年度も愛谷堰土地改良区の主催により、いわき市立夏井小学校4年生11名が体験学習として農業用水や土地改良施設の役割や大切さを学びました。事前学習を行った児童たちは、愛谷頭首工見学に向かうバスの中で、水の種類・役割の説明を受け、事前学習で解らなかったことを土地改良区職員に積極的に質問していました。また、愛谷頭首工では操作体験、停電時の発電機の役割、茨原川サイホンの仕組みを模型で学び、その後愛谷江筋に沿って移動し、いわき駅東のペッペ脇ロータリーから南に延びる道路下には愛谷江筋が有ること、愛谷江筋の受益地の変化についてなど説明を受け、大越藤間第二排水機場では実際にポンプや除塵機の稼働を体験し、排水能力や大雨時の避難について学ぶことが出来ました。帰りは愛谷江筋に沿ったあじさい散歩道を歩き、紫陽花を見ながら学校までゴミ拾いを行い、途中では管理している住民の方へお礼を伝えながら校外学習を終えました。

児童からは、普段見られない施設を見られ、水や江筋について勉強になったなど楽しく学べたと話があり、充実した活動となったようでした。

(農村整備部)



▲愛谷頭首工



▲あじさい散歩道

生きもの調査

6月27日(金)

夏井小学校2年生児童18名が、学校付近の田んぼ周辺の水路で生きもの調査を行いました。

はじめに、生きものの専門家である永山氏(アクアマリンふくしま所属)より、生きものの捕り方などの説明をいただき、その後に網を用いて生きもの捕りに挑戦しました。短い調査時間でしたが、たくさんの生きものを捕まえることができました。児童たちは今回の調査を楽しみにしていたようで、はじまるとすぐに水路に網をいれ、泥だらけになりながら熱心に生きものを捕まえていました。その後、今回捕まえた生きものや、アクアマリンふくしまから持ってきた水辺に暮らしている生きものや、外来生物について、永山氏より解説をいただきました。

児童からは、「みんなで生きものを捕まえることができて楽しかった!」「田んぼの周りの生きものに詳しくなれた。」など、喜びの声がたくさん上がっていました。

(農村整備部)



▲泥だらけになりながら、生きものを捕まえています



▲捕まえた生きものを観察しています。



いわき市内団共長連絡協議会総会及び事業推進会議

6月16日(月)

いわき市中央台公民館において、いわき市内団共長連絡協議会の第42回通常総会及び事業推進会議が開催されました。

当協議会は、いわき市内の団地共同森林施業造林組合の長が構成メンバーとなり、林業に関する研修・先進地視察活動や、山火事防止のための啓発活動、いわき市森林組合の林業コンクールへの参加など、いわき市各地域の林業を推進するために活動されています。

通常総会の後に併催された事業推進会議では、当事務所森林林業部の職員が令和7年度の森林整備関係事業で一部改正となった内容と実施上の留意事項、スギ花粉発生源対策や森林施業の低コスト化といった最近の林業関係施策の動向などについて説明を行いました。

内容について様々な質問の声が上がるなど、造林組合長の皆さまの地域林業に対する熱意が感じられる会議となりました。

(森林林業部)



▲開催状況



▲職員による説明

6月の漁模様

6月の底びき網漁業ではキアンコウ、ムシガレイ、ヤナギダコ、小型船では刺し網漁業でのヒラメや貝けた網漁業のホッキガイが多く水揚げされました。

底びき網漁業は、7～8月が休漁期間となるため、漁船のメンテナンスなどを行ったのち、9月から再び操業することとなります。

(水産事務所)



▲底びき網で水揚げされたムシガレイ



▲刺し網で水揚げされたヒラメ

食品表示法あれこれ ④アイスクリーム類の定義

アイスクリーム類の食品表示については、食品表示基準の他に「乳及び乳成分の成分規格等に関する命令」と「アイスクリーム類及び氷菓の表示に関する公正競争規約」により規定されています。

今回は、アイスクリーム類の分類・定義と表示例について解説します。

(企画部)

種類別	乳等命令及び公正競争規約による定義
アイスクリーム類	アイスクリーム類のうち、重量百分率で 乳固形分 15.0%以上、うち乳脂肪分 8.0%以上 のものをいう。
	アイスクリーム類のうち、重量百分率で 乳固形分 10.0%以上、うち乳脂肪分 3.0%以上 のものをいう。ただし、アイスクリームに該当するものを除く。
	アイスクリーム類のうち、重量百分率で 乳固形分 3.0%以上 のものをいう。ただし、アイスクリーム及びアイスマイルクに該当するものを除く。
氷菓	糖液若しくはこれに他食品を混和した液体を凍結したもの又は食用氷を粉砕し、これに糖液若しくは他食品を混和し再凍結したもので、凍結状のまま食用に供するものをいう。ただし、「アイスクリーム類」に該当するものを除く。

種類別	アイスクリーム
無脂乳固形分	9.0%
乳脂肪分	14.0%
卵脂肪分	0.7%
原材料名	牛乳(国内製造)、乳製品、砂糖、卵黄/バニラ香料、乳化剤、安定剤(ペクチン)、(一部に乳成分・卵・大豆を含む)
内容量	120ml
製造者	(株)●●乳業 福島県いわき市平梅本 15

保存上の注意：ご家庭では-18℃以下で保存してください。

事項名は「種類別」もしくは「種類別名称」とし、乳等命令の定義に従った種類別を14ポイント以上の文字サイズで表示します。

「乳固形分」とは、牛乳から全ての水分を除いた栄養成分のことを指し、無脂乳固形分と乳脂肪分に分けることができます。
つまり、定義における乳固形分は、一括表示欄の無脂乳固形分と乳脂肪分の合計により求めることができます。
表示例の場合、乳固形分は23.0%、乳脂肪分は14.0%であり、アイスクリームの表示が可能です。

保存方法及び賞味期限は、食品の特性上、長期にわたって品質の変化がきわめて少ないものとして省略することができます。その場合は、欄外に保存上の注意を記載します。

第2回「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーン開催！

小名浜道路開通プレイベント

■日 時：8月3日(日) 14:00~18:30

■場 所：いわき添野インターチェンジ
(福島県いわき市添野町猿田 地内)



▲詳細はこちら！

いわき市産農林産物の魅力や認証GAPの取組を消費者の皆さまに紹介するキャンペーンを開催します。

キャンペーン当日はGAP認証いわき市産トマトを使用したトマトジュースの試飲や、いわき農林事務所公式SNSをフォローした方(先着270名様)への6次化商品プレゼントを実施します。またアンケートにご回答いただいた方(先着100名様)に、水ようかん又はジャムをプレゼントします。ぜひ、ご来場ください！

※内容は変更となる可能性があります。

(企画部)

第2回

おいしいふくしま いただきます！ キャンペーン

日時 令和7年8月3日(日) 14時~18時30分
会場 いわき添野インターチェンジ
(小名浜道路開通プレイベント 出版)

先着270名

1 いわき農林事務所SNSフォローキャンペーン
Instagram又はFacebookをフォローしていただいた方に
ナチュレ(お菓子)を1つプレゼント！

2 プレゼントキャンペーン
GAPに関するアンケートにご回答いただいた方(先着100名様)に
水ようかん又はジャムを1つプレゼント

アンケート配布時間

1. 14:00	30部
2. 15:00	30部
3. 16:00	20部
4. 17:00	20部

いわき市産トマトを使用した
トマトジュースの試飲もあるよ！

【主催・お問い合わせ】 福島県いわき農林事務所 企画部 電話 0246-24-4197



▲Facebookはこちら！



▲instagramはこちら！

いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果（令和7年6月分）

令和7年6月の農林畜産物モニタリングでは、10品目23検体を検査し、全ての検体について放射性セシウムは検出されませんでした。また、令和7年6月の水産物モニタリング検査では、163検体の海産魚介類を検査し、全ての検体について放射性セシウムは検出されませんでした。

農林畜産物モニタリング検査結果の内訳は（表1）のとおりです。

（表1）品目と検体数

ホウレンソウ（施設）1、バレイショ1、大麦1、小麦1、わらび（栽培）2、ふき（野生）1、
菌床きくらげ（施設）1、はちみつ1、牛肉13、原乳1

いわき地方の出荷制限等品目

令和7年6月末現在、いわき地方の農林畜水産物のうち、出荷制限等の対象となっている品目は（表2）のとおりです。出荷制限等品目は、出荷・販売だけでなく、宿泊施設等での提供や加工用原材料として使用することもできません。また、自主検査等により基準値（100Bq/kg）以下であっても出荷・販売はできませんのでご注意ください。

（表2）農林畜水産物の出荷制限等品目（令和7年6月末日現在）

制限、自粛	区分	品目
出荷制限	山菜	たけのこ、ぜんまい、たらめ（野生のものに限る）、 わらび（野生のものに限る）※1、こしあぶら
	きのこ	原木なめこ（露地）、野生きのこ※2
自粛	山菜	さんしょう（野生のものに限る）

※1 わらび（栽培）で出荷・販売できるものは、安全性が確認されたほ場で生産されたものに限りです。（市内該当生産者23名のみ）

※2 野生きのこは、摂取も制限されています。

6次化商品の紹介

こだわりと美味しさが詰まったいわき自慢の6次化商品をご紹介します！

いわき市内の観光ブルーベリー園とソフトクリームスイーツ専門店「ameCafe」のコラボ商品である、「いわきブルーベリーアムバスク」が、8月上旬頃までの期間限定で販売しています。

本製品は、厳選されたいわき産のブルーベリーと地養卵を使用しており、チーズの味わいと地養卵のkok、ブルーベリーの爽やかな香りと酸味に、なめらかな口どけがマッチした、しっとりとしていて濃厚な味わいのバスク風チーズケーキです。

ブルーベリーファームいわきの併設カフェや、ameCafeのオンラインショップでお買い求めいただけます。お召し上がりだけではなく、お土産やギフト等にもぜひご利用ください。

販売元・お問い合わせ

合同会社 七浜果樹
（ブルーベリーファームいわき）

〒福島県いわき市平藤間字中谷地17の1
☎070-8587-3752

ブルーベリー
ファームいわき
HPはこちら！



ブルーベリーファームいわきと
ちゃこちゃん農園(小川町)で採れた
新鮮なブルーベリーを
たっぷり使用しています。



いわきブルーベリーアムバスク外観
濃厚で高級感のある見た目
家族や職場への
お土産にもぴったりの逸品

☎ ブルーベリーファームいわき併設カフェ
〈ホール15cm・4～6人前〉4,000円(税込)
〈1/6カット・1ピース〉 600円(税込)

☎ ameCafe オンラインストア
〈ホール15cm・4～6人前〉4,000円(税込)

店頭受け取りを希望する場合も事前予約必須
※店頭受け取りと全国発送のHPは別になっているため
ご注文の際はご注意ください。



取扱店舗

ブルーベリーファームいわき併設カフェ
ameCafe オンラインショップ



ameCafe
オンライン
ショップは
こちら！

第2回 高校生発！Iwaki ならではのグルメをつくろう レシピ紹介

地元農産物の魅力を発信するため、市内の高校生と飲食店等が共同でいわきならではのグルメを開発する、「高校生発！Iwaki ならではのグルメをつくろう」。

今回は応募のあった中から、「悪魔級！焼きおにぎり」のレシピを紹介します！

**全食材部門
商品化
レシピ
競馬ルト**

今井 智康さん
福島県立いわき光洋高等学校 1年

調理時間：20分
食材費(2人分相当)：400円

悪魔級！焼きおにぎり！！

(商品名：悪魔級！焼きおにぎりセット！！)



商品化



応募時



ネギみそ入りの焼きおにぎりにエリンギ煮を乗せ、ミニトマトのフライを追加してセットにしました。

材料

【ネギみそ】

長ネギ	1本
みそ	大さじ3
みりん	大さじ2
酒	大さじ2
砂糖	大さじ1
すりおろし生姜	小さじ1
しょうゆ	小さじ2
ごま油	大さじ1
かつお節	2g

【焼きおにぎり】

ご飯 (Iwaki Laiki)	280g
和風だし	小さじ1
しょうゆ	大さじ2
みりん	小さじ1
白ごま	適量
ごま油	小さじ1

作り方

【ネギみそ】

- ① 長ネギは根元を切り落とし、小口切りにする。
- ② (A) をすべて混ぜ合わせる。
- ③ フライパンにごま油をひき、強火で①を炒める。
- ④ 長ネギがしんなりしてきたら、②を加え、中火で煮詰める。
- ⑤ ある程度水分が飛んだら、かつお節を加えて中火のまま混ぜ合わせたら、火からおろす。お皿に広げ、粗熱をとっておく。

【焼きおにぎり】

- ⑥ (B) をすべて混ぜ合わせてタレをつくる。
- ⑦ ボウルに温かいご飯を入れ、⑥のタレを混ぜ合わせる。
- ⑧ ⑦のご飯を軽く手のひらにのせ、中央に凹みを作り、⑧のネギみそを乗せ、包むように形を整える。
- ⑨ オープンシートにごま油を薄く塗り、⑧を並べる。
- ⑩ オープントースターで片面を6分ずつ焼き、さらに片面ずつ4分焼く。

作品のPRポイント

福島県産のネギとお米を使った焼きおにぎりです。小さなお子様から大人まで幅広く親しみやすいものを作りました。安くて簡単を意識しました。

【レシピを参考に作ってみました】

ネギみその甘塩っぱさと焼きおにぎりの香ばしさがマッチしており、やみつきになる一品でした。簡単にしてくれるので、皆様もぜひお試しください。

(担当T. H)

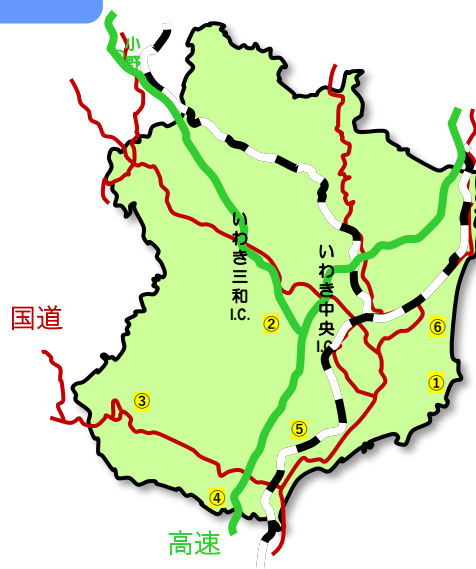
レシピ集はこちら！



今月号に掲載した場所はこちら！

- ①優良森林土木工事（小塚地区）(P1)
平薄磯地内
- ②優良森林土木工事（田代川平線）(P1)
内郷高野町地内
- ③緑化功労者（明神山）(P1)
田人町荷路夫地内
- ④基盤整備実施箇所(P2)
瀬戸町地内
- ⑤いわき添野インターチェンジ(P8)
添野町猿田地内
- ⑥ブルーベリーファームいわき(P9)
平藤間中谷地17-1

いわき市 MAP



あとがき



あとがき

梅雨もあけ、いよいよ本格的に暑くなってきていますが、皆様如何お過ごしでしょうか。

2016年度から建設が進められてきた小名浜道路が、いよいよ8月7日に開通予定となり、そのプレイベントが8月3日に開催されます。いわき農林事務所が行うGAP、地産地消、6次化商品のPRをはじめ、フラダンスショーや特産品のPRなど、いわきの魅力を伝える様々なイベントが開催されます。皆様も是非お立ち寄りください。

(担当 T.H)

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。
福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
(県いわき合同庁舎 3階)

T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>

いわき農林水産ニュース

検索